

PTA活動紹介			高P連受付番号	10
P T A (学校) 名	愛知県立田口高等学校 P T A		部門 No.	2
活 動 テ ー マ	I. P T A 研修旅行、II. P T A 組織と役員選出の見直し			
キ ー ワ ー ド	コロナ禍での活動	保護者の交流	役員選出	
開 催 日	2022年10月2日(日) (以下「参加者」まではIの取組)			
場 所	愛知県立田口高等学校			
時 間	9時00分～11時30分			
参 加 者	保護者10名			
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前はバス旅行で行っていた研修旅行ができなくなったため、地域の作家さんを高校にお招きしてクラフト体験を行うことで行事を継続した。併せて、コロナ禍で減ってしまった地域との交流の一助とした。 ・生徒数減少により従来の役員構成が維持できなくなったため、2020年度以降保護者全員でP T A活動に取り組み、役員の負担も減らせるよう組織改編を行った。 			
活 動 ポ イ ン ト	コロナ禍での活動継続の方策 一部の保護者の負担ではなく、保護者全員で生徒活動を応援できる組織へ			
主体委員会名 ・講師名等				

本年度だけの取組ではありませんが、コロナ禍への対応や生徒数減少に伴うP T A活動の見直しの経過について、小規模校のP T A活動を紹介します。

I. P T A 研修旅行

〔コロナ禍前までの研修旅行〕

2019年までは、マイクロバスをチャーターして愛知県内や近隣県に出かけ、クラフト体験、工場見学を柱とした行事を行っていました。ご当地名物の昼食やショッピングも行い、会員の親睦行事としても秋の目玉行事となっていました。また、クラフト体験の作品は文化祭P T A企画のなかで展示をすることで、文化祭に華を添えてもらいました。

〔新研修旅行へ〕

2020年度以降新型コロナウイルス感染症への対応として、バスによる移動や会食の制限がかかったため、どのようにやり方を変えるのか当時の役員会で議論をしました。その結果、コロナ禍が収まるまでは①遠出の「旅行」ではなく、校内で代替企画が行えないか、②地元のクラフト作家さんをお願いすることで地域の支援や交流ができないか、という方向でコロナ禍での新たな「研修旅行」がスタートしました。

〔2020年度以降の取組〕

◎2020(令和2)年度

設楽町でモザイクアート工房を営み、作品制作を行っている方を講師にお願いし、モザイクアクセサリ作りの体験を行いました。参加者は保護者6名、教職員5名。イタリアから設楽に来て、地域で暮らしていらっしゃる講師の方との交流も楽しい時間になりました。



実施年度	旅行先	クラフト体験、見学先
2016(平成28)	岐阜県可児市	ガラス工芸、日本昭和村
2017(平成29)	長野県伊那市	草木染体験、かんでんパパ
2018(平成30)	台風のため中止	
2019(令和元)	岐阜県恵那市	アクセサリ作り、チョコリ村

◎2021(令和3)年度

設楽町でフィルムステンド作家として活動している方を講師に、フィルムステンドに挑戦しました。参加者は保護者3名、教職員3名と少なかったのですが、小規模でも和気あいあいとした時間を過ごせました。

◎2022(令和4)年度

新城市にある学童農園やまびこの丘で行っている木工体験を、田口高校まで出張して実施してもらいました。カッティングボード作りを行いました。キットの素材である板材を田口高校林業科が提供していることもあり、そのご縁で実現しました。参加者は保護者10名と定員いっぱいの盛況となり、参加した保護者からは保護者どうしの交流もできて本当に楽しかったとの声が聞かれました。



〔これからの取組〕

コロナ禍のために体育大会や文化祭など学校を従来のように地域や保護者に公開できる機会が減り、保護者どうしの交流の機会も激減するなかで、「続ける」ための小規模校でのささやかな工夫を紹介しました。行事名を「研修旅行」とし続けていますが、いつかまた楽しい旅行ができることを願っています。

II. P T A 組織と役員選出の見直し

〔見直しの契機と見直し内容〕

奥三河地区の少子高齢化のため入学生徒数は減少し続けており、中学校区ごとに決めていた役員定数では選出できない事態も起きるなど、従来の役員選出が難しくなってきたため、2019(令和元)年度より役員選出方法と役員組織の見直しに着手しました。特に3年間持ち上がりとなる会長、副会長の負担を軽減して選出しやすくなることや、小規模を逆手にとって保護者のほぼ全員が関われるような活動を目指しました。

見直し作業は2018年度末に原案を提示し、翌2019年に1年間かけて役員会で協議しました。2020年度役員会・総会で正式に決定され、新組織に移行しました。以降新入生入学説明会時の役員決定が3年続き、保護者全員で役員を決める方式が定着しました。

＜従来の役員構成＞
 ・会長1名、副会長2名(3年間持ち上がり)
 ・地区委員17名(中学校区ごとに定数設定)
 *次年度入学生の副会長選出は退任会長を中心に選出する。地区委員は地区ごとに協議。



＜新しい役員構成＞
 ・会長1名、副会長2名(3年間持ち上がり)
 ・学年委員4名×3学年 12名
 (各学科最低1名、合計4名以上とする)
 *次年度入学生の副会長・学年委員選出は、入学説明会時に全保護者で3年分を割り振り決定。

〔見直しの成果〕

全校70名足らずの生徒数に役員が15名。ほぼ全保護者が3年間のうちに1年は学年委員を担います。また、代表である会長の選出に全員が立ち会うことで、会員相互の意識も高まったように感じます。コロナ禍もあり、活動の難しい時期は続きますが、小規模だからこそできる活動を目指していきたいです。